

実力行使さける

不知火
海漁民

不知火海沿岸漁協で結成している不知火海水俣汚濁防止対策委員会は、十四日県議会連立委員会に陳情したあと、午後二時から代表十五人が熊本市南千反畑町の県漁連で会合、当面の態度を協議した結果、周囲の状況を考えて、十五日の漁民の実力行使は回避するとの方針を決めた。会合のあと村上対

策委員長はつぎのように発表した。十五日に漁民が新日窒水俣工場を襲撃するという話は漁民間で自然に起り得る可能性がある、というもので、誰かによって計画されたものではないことが確認された。寺本知事があつ旋を開始する段階になり、また県議会もあつ旋が不調に終わるなら

次の手を打つとの誠意をみせているので、いま実力行使はすべきでないとの結論に達した。この方針できょう（十四日）の出席者がそれぞれ関係漁協の組合員を説得することになった。十五日の不慮の事態は避けうると思う。ただし今後会社側が誠意をなさねば、問題は別である。

と意気地がないようだがメソツなどにかまつてないで初めから「オビ号」に協力を頼んだらいいのじゃないかということに結局隊の議論は落ち着いた。